

「研究論文」に関する寄稿規定

『スポーツトレーニング科学』には、鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センターのさまざまな活動報告を掲載すると共に、本センターで行われた研究成果を「研究論文」として掲載します。研究論文の作成にあたっては以下の規定に従って作成してください。

1. 一般的な注意

文章はワードプロセッサで作成してください。そして原稿の1頁目には、表題、省略表題、著者名（全員）、所属（全員）を和文及び英文で記してください。（省略表題については和文のみで可）。2頁目は英文抄録（200語程度）と索引用語（英語と日本語でそれぞれ5語以内）、3頁以降は本文、文献リスト、図表の説明文、図表の順としてください。単著者が投稿する場合は、原稿を電子媒体に変換し著作物として有線送信することの許諾を得たものとして取り扱います。共著の場合、筆頭著者は、共著者から電子媒体として有線送信することの許諾を得て投稿するものとします。

2. 本文記述上の注意

- 1) 本文の章の見出しは、原則として、Ⅰ. 研究目的（あるいは、緒言、はじめに）、Ⅱ. 方法、Ⅲ. 結果、Ⅳ. 考察、Ⅴ. 要約（あるいは、結論、まとめ）としてください。
- 2) 見出しの記号は、大項目より小項目へⅠ、Ⅱ、・・・、A、B、・・・、1、2、・・・、1)、2)、・・・とします。
- 3) 引用文献は主要なもののみ限定し、本文中には引用した部位に^{1, 2)}のように数値を上付きで記してください。
- 4) 文献リストの作り方
文献リストの順序は、著者名のABC順に配列してください。著者名や表題等の記載順序は以下のようになしてください。その際、カンマ、ピリオド、コロン、セミコロンの使い方に注意してください。
①論 文→著者名（共著者も全て記載）：論文名、雑誌名、巻数：頁－頁、西暦年号。
例）金高宏文，海江田貴嗣，亀沢美香代，川野美香子，會田 宏：全国大会レベルで活躍する中学女子ハンドボール選手の一般体力及び専門的運動能力の特性；全国大会ベスト8チームと地区大会ベスト8チームの比較より。『スポーツトレーニング科学』，4：2－7，2003。
例 ） Maron, M.B., J.A.Wagner and S.M.Horvath: Thermoregulatory responses during competitive marathon running. J. Appl. Physiol., 42: 909-914, 1997。
②単行本（その1）→著者名（共著者も全て記載）：書名、出版社名、発行地、頁－頁、西暦年号。
例）山本正嘉：登山の運動生理学百科。東京新聞出版局，東京，22-34，2000。
例 ） Ward, M.P., J.S.Milledge and J.B.West: High Altitude Medicine and Physiology (3rd. Ed.). Oxford University Press, New York, 56-61, 2000。
③単行本（その2）→著者名（共著者も全て記載）：論文名、編者名、書名、出版社名、発行地、頁－頁、西暦年号。
例）西藺秀嗣：筋電図を測る。鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター編，スポーツ選手と指導者のための体力・運動能力測定法，大修館書店，東京，98-105，2004。
例 ） Sahlin, K.: Metabolic changes limiting muscle performance. B.Saltin (Ed.), Biochemistry of Exercise VI, Human Kinetics Publishers, Illinois, 323-343, 1986。
- 5) 図表は一つずつ別紙に作成し、図表番号は図1、表1などとし、これに説明をつけてください（図表を本文中に入れ込むことは避けて下さい）。図表はそのまま印刷しますので、必ずトレースするか、もしくはコンピュータを用いて出力したものを用いてください。また写真は濃淡のはっきりしたものとしてください。

3. 校 正

著者校正は2回とします。